

ことば・きこえだより

令和2年8月26日

川越市立川越小学校

難聴・言語障害通級指導教室

TEL 225-6880(直通)



例年よりも短い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。子ども達は、限られた中ではありますが、家庭でゆっくりと過ごしリラックスできたのではないのでしょうか。担当一同、久しぶりに会った子ども達との会話を楽しみつつ、指導への気持ちも新たにしております。

今学期も、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

川越小の指導児童数(2学期)

種別	人数
発音の誤り	39
吃音	14
難聴	5
計	58

環境で変化する吃音症状

毎年、数名の保護者から、「2学期に入ってから吃音の状態が思わしくないのですが・・・。」という話を耳にします。

原因として考えられるのは生活のリズムの変化です。夏休み中、自分のペースで過ごしていた子ども達は、心や体のリズムを2学期モードに切り替えるためには少し時間がかかります。特に2学期は、運動会や音楽会などの校内行事が多く行われます。限られた時間で仕上げていかなくてはならないため、忙しさにも拍車がかかります。先生方も大変忙しいため普段よりも話す速度が速くなりがちかと思えます。実はこのような環境の変化は吃音症状に少なからず影響すると言われていています。そのような慌ただしい環境の中で、担任の先生が少し「ゆっくり」話をしたとしたら、吃音症状のある子どもは、かなりリラックスできるはずです。

また、担任の先生が話す速度を緩めることは、吃音症状のない子にとっても気持ちの安定に繋がります。「吃音のある子ども達が安心して生活できる環境は、そうでない子ども達にとっても、大変良い環境である。」と言われていています。

忙しい時にゆっくりと対応することは、難しいことです。子ども達の言語指導に携わっている私たち担当も、心がけていきたいものです。また、学校生活が行事等で忙しい時には、家庭では、なるべくしっかりと休養を取り、ゆったりとした時間が過ごせるように心がけることも大切です。

9月の予定

9月17日(木)・・・第1回 ことばグループ学習 15:25～

9月24日(木)・・・第1回 きこえグループ学習 15:25～

※新型コロナウイルスの影響のため、短時間かつ密にならない工夫をして行う予定です。